

# MOT専門職大学院

## 1. MOT専門職大学院

(1) 設立状況

(2) 教育の特徴、修了要件、入学対象者

## 2. MOTで求められる人材

(1) 要望される人材

(2) 育成人材

## 3. カリキュラムの特徴

# MOT教育で求められる人材

## 1. 企業行動の現状と課題

- (1) 創業経営者育成のための環境整備
- (2) 見えざる資源に対する戦略立案
- (3) 日本の製造業における研究開発効率の向上
- (4) リスク、セキュリティに対するマネジメント意識

## 2. 求められる人材

- (1) 経営のわかる技術者
- (2) 技術の価値のわかる創業経営者

日本学術会議 「企業行動研究連絡委員会」

平成17年 6月23日 「経営を科学する、ビジネスをデザインする」

# MOTの分類

Degree	Degree	Non Degree
専門職大学院	既存研究科の1コース	大学および民間機関
技術経営修士	修士 (経営学、工学、学術 等)	
修業年限 2年 (大学により1年) 概ね40単位以上 プロジェクト研究	修業年限 2年 (大学により1年) 30単位以上 修士論文	短期集中 (4ヶ月程度～1年) 限定科目履修
選抜試験有	選抜試験有	受講希望者 (一部書類審査 有)

# 技術経営系専門職大学院

設立	大学	
平成 15年	芝浦工業大学 早稲田大学 九州大学	大学院 工学マネジメント研究科 大学院 アジア太平洋研究科 大学院経済学府 産業マネジメント専攻
平成 16年	東京理科大学	大学院 総合科学技術経営研究科
平成 17年	東京工業大学 東京農工大学 日本工業大学 山口大学	大学院イノベーションマネジメント研究科 大学院技術経営研究科 大学院技術経営研究科 大学院技術経営研究科
平成 18年	新潟大学 長岡技術科学大学	大学院技術経営研究科 大学院技術経営研究科

# 専門職大学院教育の特徴

項目	内容	備考
1. 履修年限	2年	大学によって1年コース
2. 開講日	平日夜間 & 土曜日	一部 金曜日も開講
3. 学位	技術経営修士	
4. 修了要件	30単位以上 (概ね40単位以上)	工学系より多い
5. 必修科目	プロジェクト研究 (特別課題研究、ビジネスプラン プロジェクトレポート 等)	工学系の修士論文に 代わるもの
6. 教員構成	・実務家教員30%以上 ・T/S比 工学系の1.5倍	企業での実務経験、 起業経験豊富な教員 密度の濃い教育
7. 入学者	主に社会人 大学によって、新卒者も受け入れ	

# 修了要件

	修得単位数	必修
芝浦工大	40単位以上	プロジェクト研究 特定課題研究
早稲田	50単位以上	修士論文
理科大	46単位以上	ワーキングペーパーの提出
東工大	40単位以上	プロジェクトレポート
農工大	46単位以上	ビジネスプラン ケーススタディ
日本工大	34単位以上	
山口大	40単位以上	必修11科目
九州大	36単位以上	必修6科目:プロジェクト演習、英語講義
長岡技大	46単位以上	システム安全基礎演習・実務演習
新潟大	40単位以上	コアプログラム16単位

# 入学対象の学生

芝浦工業大学	30歳前後の社会人
早稲田大学	CTO候補者、先端技術戦略、政策立案者 R&Dマネジャー候補者
東京理科大学	7年程度の社会人キャリアのある人
東京工業大学	実務経験のある社会人、大学および大学院修了
東京農工大学	社会人および学部卒 社会人特別選抜(実務3年以上、上長推薦)
日本工業大学	5年程度の実務経験を有するもの
山口大学	経営者、CTO予備軍、イノベーションを目指す人
九州大学	社会経験2年以上
長岡技術科学大	社会人(企業で実務経験2年以上)
新潟大学	社会人(技術管理者,製造業経営管理者,製造業後継者)

# 育成する人材像

芝浦工業大学	・戦略を構想できる未来への挑戦者
早稲田大学	・独創的な発想をし、自主・独立意欲が強く、 新しい問題解決にリーダーシップを発揮できる人材
東京理科大学	・新事業を創出できる人材 ・先端技術と経営論に基づくイノベーション力を身に付ける
東京工業大学	・技術による新たなマーケットの創造、 ・マーケットの変化に対応できる新技術の開発、 ・イノベーションサイクルの継続的な創出ができる人材
東京農工大学	・技術リスクを科学的に予見・最小化し、 先端産業ビジネスを創出できるスマートマネジャー
日本工業大学	・中堅・中小企業における経営戦略、新事業開発、起業戦略人材
山口大学	・地域中小企業の経営支援人材又は経営者予備軍 地域中核企業のCTO支援人材又はCTO予備軍
九州大学	・起業家精神に富むベンチャー型人材 ・知的財産を戦略的に管理できる人材
長岡技科大	・安全技術とマネジメントを統合的に応用できる専門職
新潟大学	・新潟地域産業の持続的発展を担う高度な専門的能力と スキルをもつ社会人



# 専門職大学院カリキュラム構成

<b>基礎</b>	経営戦略、経営組織、マーケティング、 ファイナンス、法務 コミュニケーション、プレゼンテーション 企業倫理、技術倫理、意思決定論、 リーダーシップ など
<b>中核</b>	研究・技術開発戦略、研究・技術開発マネジメント 技術予測、技術評価、 知的財産戦略、知的財産管理 イノベーション、起業化、先端産業事業化 リスクマネジメント、 など
<b>必修</b>	プロジェクト研究、特別課題研究 実務演習 など

# MOTにおける講義科目例

科目郡	講義事例
1. 経営	経営戦略、経営組織、人材育成、法務、倫理
2. マーケティング	マーケティング戦略、マーケティングと新規事業
3. ファイナンス	財務会計、財務分析、原価計算
4. コミュニケーション	リーダーシップ、意思決定、ヒューマンファクター
5. 研究・技術開発	研究・技術開発戦略、技術開発マネジメント、プロジェクト管理、技術革新
6. 事業創出	イノベーション、ベンチャー起業、新産業創出 事業化論、事業性評価
7. 先端技術情報	先端技術政策、先端技術産業・ビジネス
8. 知的財産	知的財産戦略、知的財産管理、知的財産防衛
9. リスクマネジメント	リスク評価、リスクコミュニケーション
10. 生産	生産システム設計、SCM、品質保証、安全管理

## カリキュラムの特徴

芝浦工業大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場における技術経営課題をオムニバス方式で学習</li> <li>・マネジメント科目と技術分野の最先端情報科目を配置</li> </ul>
早稲田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講可能科目数 90（併設のMBA, 国際関係学の受講も可能）</li> <li>・トライアングルメソッド(教員、学生、学外者の3者の交流)</li> </ul>
理科大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義：事例研究、ディベート、クラス討論で進める。 90分2コマ連続：前半が理論・ケースの説明、後半がクラス討論</li> </ul>
東工大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新のケーススタディ教材を提供し、ディベート中心の講義</li> <li>・グループ活動によるリーダーシップの育成</li> </ul>
農工大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営基礎・経営戦略に加えて、技術リスク全般を学ぶ技術管理科目 先端産業創出分野、知的財産分野に特徴</li> <li>・eラーニングの採用</li> </ul>
日本工大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期(1年)で修得できるように、集中的且つ効率的授業 3コース(中小企業経営者,プロジェクトマネジメント,技術起業戦略)</li> </ul>
山口大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習系科目で、実践的課題に取り組むことにより、 思考力とスキルを高める</li> </ul>
九州大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部の壁を越えてMOT関連科目を履修</li> <li>・MBA教育を基礎として、MOTに専門特化できるカリキュラム編成</li> </ul>
長岡技科大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際標準の安全理論、安全法規の上に、安全技術とマネジメントを 総合的に応用する人材、安全実務有資格者、土日集中講義</li> </ul>
新潟大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト演習での理論的実践的レポートを必修、 全員参加報告会</li> </ul>

# MOT協議会（平成17年9月発足）

## 1. 概要

文部科学省から設置認可された  
技術経営系専門職大学院10校が全て参画した協議会

- (1) MOTの社会認知の向上
- (2) MOT教育の質的向上

## 2. 主な活動

- (1) MOT認証評価基準(案)の制定
- (2) MOT教育方法の改善・質的向上
- (3) 日本におけるMOT教育のPR

MOT協議会のHP、MOTシンポジウム 等